



「第 5 回森わさ賞」表彰式が開催されました

第 5 回森わさ賞の表彰式が、2 月 15 日にポートアイランド第 1 キャンパスにて行われました。受賞された兵庫県栄養士会会長の橋本加代さん（1979 年に栄養学部卒業）に、男女共同参画推進委員長である中村学長より表彰状とトロフィーが送られました。

中村学長は「本学の最初の学部だった栄養学部の卒業生であると同時に神戸学院女子高等学校も卒業なされた。県民の健康に資する活動をされ、学生の教育にもあたられた。ご尽力に心から感謝申し上げます」と祝福の言葉を送りました。

橋本さんは「報恩感謝と自治勤労という森わさ先生の教えをよく覚えております。大学を卒業して仕事をしてからは恩師の先生方に、さまざまな面で助けていただきました。栄養学部卒業生一同、学生の皆さんの力になりたいと思っています」と述べました。



「男女共同参画・ジェンダー 卒論発表会が開催されました

6 回目となる学部をまたいだ卒論発表会が、2 月 9 日に開催されました。今年度は、4 学部から 9 名の学生が発表し、オンラインも含めて約 30 名が参加しました。

参加者全員による投票の結果、最優秀賞には人文学部・溝渕愛果さんの「女性の生きづらさ—生理用品の変遷に着目して—」、優秀賞は人文学部・小野田祥子さんの『女性向け風俗』の希望—彼女たちは何を求めているのか—と、現代社会学部・國松万熙さんの「家庭での『食の備え』を促す工夫について—啓発活動から見えてきたこと—」が選ばれました。

中山文男女共同参画推進室長から、受賞した学生 3 人に表彰状と副賞の図書カードが贈られたとともに、全ての発表者の報告に対して感謝と講評を伝えました。要旨集は男女共同参画推進室でご覧になれます。



学長カフェを開催しました～2 月 9 日～

中村学長を迎え、今年度 2 回目の学長カフェを実施し、オンライン含め約 20 名の教職員が参加しました。前回に引き続きお茶とお菓子を用意し、和やかな雰囲気で行うことができました。学部を越えた取り組み、防災・ボランティア活動、大学と地域との連携に関する課題等、参加者より様々な話題の提供があり、活発な意見交換の場となりました。学長はそれぞれの話題について、これまでの経験や学長としての立場から丁寧に回答され、積極的に質問をされる場面もありました。最後には、「今後の大学運営の方向性、道筋を確認することができた。感謝したい。」と述べられました。次年度も開催を予定していますので、ぜひご参加ください。



2023 年度もありがとうございました。新年度もぜひ各種支援制度やセミナーなどをご利用・ご参加ください。

神戸学院大学保育 3 事業の一つである「日曜・祝日出勤時一時保育」の対象年齢の引き上げなど、今年度も制度の拡充に努めてきました。また男女共同参画フォーラムや卒業生セミナー、キャッチフレーズ、上映会などの企画もパワーアップして進めて参ります。

来年度も、ぜひ男女共同参画推進室の取り組みにご注目ください！



お父ちゃんの子育てばなし

連載
第 15 回

11 歳の息子と 5 歳の娘の子育てに奮闘中です。子供たちが起きている間は仕事ができないため、大学院時代からずっと夜 9 時に寝て朝 4 時に起きる生活をしています。私は 5 年間アメリカの大学院に通いましたので、息子は 1 歳から 6 歳までアメリカで過ごしました。ほとんど英語しか喋れない状態でいきなり日本の小学校に入ったのでずいぶん苦勞をさせてしまいました。そんな彼も今では反抗期真っ只中で親を論破しようとしてくるぐらい日本語が上手になりました。娘はアメリカで生まれ生後 1 ヶ月で日本にやってきた、英語の喋れないアメリカ人です。お絵描きが大好きで、家中彼女の作品だらけです。そして、妻は元々留学生で大学時代に出会った中国人です。

そんな、日本人・中国人・帰国子女・アメリカ人というチグハグな 4 人家族だからこそ、子供たちには将来どこの国に行ってもうまく順応して周囲の人を尊重し仲良くなれる人になってほしいなと思っています。

（人文学部 准教授 服部 亮祐）

神戸学院大学 男女共同参画推進室

住 所 神戸市中央区港島 1 丁目 1 番地 3

電 話 078-974-1551（代表）内線 84453
078-571-0927（直通）

メール danjokyodo@j.kobegakuin.ac.jp